

從來各地方トモ水田ノ除草ヲナスニハ手頭ヲ以テナスヲ習慣トセリ九州地方ニテハ從來蟹爪ト稱スル器具ヲ使用シ又四國地方ニテハ四本爪ノ小鍬ヲ使用ス然ルニ明治十年和歌山縣ノ出品ニ田打車アリ爾來各地方ニテ之ヲ模造スル者多ク今回ノ出品ニハ此種ノ器具頗ル多シ中ニハ二個ヲ連續シタルモノ數多アリト雖連續製ハ便利ナルカ如クニシテ却テ不便ナル事多シ例ヘハ之ヲ回轉スルニ際シ稻株ノ植方正シカラサレハ使用スル事ヲ得ス使用者モ亦歩行ニ困難ヲ感スルカ如シ故ニ單車式ヲ便利ナリトスヘシ(寫真第八圖)

插秧定規

近來插秧ノ際繩ヲ引或ハ種々ノ方式ニヨリテ定規トナス者多シ然ルニ靜岡縣安部郡有度村石川信太郎出品ノ定規ハ木製ノ幅一尺位ノ三角形長サ六尺ノ杵狀ノモノニシテ之ヲ倒シテ插秧シ次第ニ轉シテ進ミ行クヘキ輕便ナル定規ナリ(寫真第一圖中ニアリ)此定規ハ耕作者ノ望ミニヨリ大小長短共容易ニ伸縮シ得ルモノニシテ又何人ニテモ容易ニ作り得ヘキモノナリ

播種及施肥具

播種及施肥具ハ出品多カラス出品ノ中ニモ實用ニ供セラル、ト認ムル物甚タ少キハ遺憾トスル所ナリ其中ニ栃木縣上都賀郡栗野村中枝武雄出品ノ麻種播種器ハ稍佳ナルモノナリ

灌溉排水器具

灌溉排水ノ用具ハ其出品多カラス其中ニ千葉縣小菅秀吉出品ノ鑿井用具模型アリ詳ニ其效

用ヲ知ル能ハサルモ灌溉ニ供スヘキ噴水井ヲ穿ツノ道具タルノ概略ヲ知ル事ヲ得ヘシ從來ノ鑿井法ハ多ク鐵桿ノ長キ物ヲ繼キ用ヒ其重力ニヨリ鑿ツノ式ナリシニ小菅式ハ割竹ノ籠ヲ車狀ノ杵ニ纏ヒ置キ其先ニ數尺ノ鑿鐵ヲ附屬シ之ヲ以テ穿ツモノナリ同縣官ノ報告ニ據レハ本年五月三十一日長生郡茂原町ニ設立セル縣立農學校ハ水利ニ乏シク困難ノ餘リ同人ニ委囑シ鑿井セシメタルニ百四十間ニ至リ其功空シカラス噴水スル事ヲ得タリ其噴水ノ上騰スル事十八尺ニシテ從來ノ式ニ比スルニ大ニ輕便ナリト云フ但シ大阪地方ニテモ類似ノ方法ニヨリ鑿井シタル噴水ハ博覽會場前築山中二箇所アリ蓋シ掘抜井ハ地形ニヨリテ噴水ヲナスモノナレハ之ヲ實際ニ試ミテ可ナリ又我邦ノ農家ハ古來ヨリ水田ヲ以テ主トナスニヨリ水田ノ得失ハ直ニ國ノ浮沈ニ及ホスノ觀アリ故ニ山村僻地ト雖苟モ水利ノアル處ハ之ヲ水田ニ開キ剩ス處ナキニ至レトモ水利ノナキ處ハ各所ニ荒廢セル地所少カラス近來各地方ニテ蒸汽力ヲ使用シ水ヲ揚ケ灌溉ヲナス者多ク今回其成績ヲ第一部第五類ニ出品シテ賞與ヲ得タル泉北郡向井田村堺市ヨリ凡十町灌溉ノ如キハ最モ好結果ヲ得タルモノナリ其耕地ハ三百六十餘町歩ニシテ平日水利ニ乏シク毎年早損ヲ患ヒ居タリシカ明治二十八年ニ至リ蒸汽唧筒ヲ以テ灌溉スルノ議ヲ決シ大阪市西區本田町岡崎鐵工場ニ寄託シ諸機械ヲ製作セシメ三十一年大和川沿岸ノ地ニ設置シ水面上四十五尺ノ地ニ揚水ヲナシ此起點ヨリ終點マテ延長千二百間内徑一尺二寸ノ土管ヲ埋設シ以テ水路トナシ其中間ニ第二號水塔ヲ設ケ更ニ二十三尺ノ揚水ヲナシ之ヲ終點ノ地ニ至ラシム蓋シ平坦ノ地ナラハ一箇所ヲ揚水ニテ足



レリト雖此地方ハ凹凸ノ地ナルヲ以テ此設置ヲ要シタリ途中ニハ各所ニ噴水器ヲ設ケテ諸方面灌溉ノ便ニ供セリ第一水塔ノ地盤ハ岸上ヨリ十間ノ距離ニシテ水面ヨリ二十七尺七寸六分ノ高サヲ有シ又第二ノ水塔ハ七百六間ノ距離ニシテ四十一尺一寸六分ノ高サヲ有ス最水低ヨリハ五十三尺七寸六分ナリ用水引入レ口ハ大和川左岸ヲ距ル事九尺河底ヨリ八尺地所ニ土留梓ヲ据エ河ニ對シ幅五尺餘ノ水路ヲ開キ細砂ヲ防ク爲堰板ヲ挿入シ是ヨリ高サ五十四尺ノ揚水ヲナスモノトス

一 橫裝蒸汽鐘

一 公稱馬力

一 唧筒ノ直徑

一 同行長

一 一分時間ノ回數

一 一秒時間ノ揚水

右設置費用

一金二萬二千六百七十四圓十九錢五厘

內

金五十五圓五十四錢八厘

金三百六十三圓四十八錢六厘

八馬力

十二吋四分ノ一

三十吋

三十六回

十町步ニ深サ一寸六分

測量費

水塔地質入費

金七百七圓八十三錢一厘

金六千八百八十一圓七錢五厘

金三千二百六十三圓二錢

金一千六百一十一圓八十五錢六厘

金百三十六圓四十九錢六厘

金三百十三圓六十七錢五厘

金一千七百五十七圓十八錢五厘

金七百五十一圓九錢九厘

金五百十三圓八十六錢九厘

金七百二十六圓八十九錢

金九百十九圓二十八錢三厘

金百七十三圓三十錢

金三百三圓八十三錢七厘

金七十七圓九十六錢

金三千百圓三十錢八厘

金千十八圓四十七錢七厘

水塔建築費

蒸汽機械購入費

土管購入費

土管理築費

麻繩購入費

セメント購入費

家屋及基礎建築費

工事必要品購入費

消耗品費

諸給料

人夫雇賃

雇工料

通信運搬費

旅費

借入金利子

雜費



右ノ結果ハ一箇年一萬數千圓ノ價アル生産ヲ増加シ滿二年餘ニシテ總費用ヲ消却スト云フ  
尙外ニ畑地ヲ水田トナシタル爲ニ從來三十圓内外ノ價ナリシモノ忽チ百八十圓餘ノ騰貴ヲ  
來シタリト云フ

收穫調製貯藏及運搬器具

此種ニシテ最モ多キハ鎌ニシテ之ニ亞ク物ハ稻扱ナリ鎌ノ出品最モ多キハ長野福井ノ兩縣  
ニシテ長野縣上水内郡出品ノ鎌ハ鍛鍊精巧ナルニヨリ衆目ノ注意ヲ惹ケリ然レトモ其形狀  
或ハ稍大ニ失スルノ論アリテ各種ノ形狀ヲ試製スルノ希望起リシカ賣店ニアル物ヲ見レハ  
種々ノ形狀アリ既ニ同地方ニテ試製セルモノアリト見受ケラレタリ福井縣武生町モ亦有名  
ナル鎌ノ産地ニシテ製作佳良ナリ形狀ハ多ク眉形ヲナシ使用ニ便ナリ次ニ兵庫縣下出品中  
モモ良好ナル物甚タ多シ其外鎌ノ種類ハ各府縣各樣ノ形狀アリ今此ニ各縣下ニ普通使用セ  
ル所ノ物ヲ集メテ之ヲ寫眞シ寫眞第九第十圖農家ノ參考ニ供ス宜ク良好ナルモノヲ撰ンテ  
自己ノ便利ニ適セシムヘシ其外參考館附屬ヘルラー館ニ出品セル埃國 Radenbohl & Co 製品中  
ニ大小數種ノ鎌アリ英語ニ之ヲ「サイズ」及ヒ「シツクル」ト云フ皆牧草及ヒ穀類ヲ刈ルニ用フル鎌  
ナリ「サイズ」ハ柄ノ出品ハナシト雖之ニ附屬スルニ屈曲セル柄ヲ以テシ立ナカラ使用スルモ  
ノナリ我邦ニテハ牧畜ノ業未タ盛ナラス牧草ヲ栽培スル者亦甚タ少キ爲何ノ用ニ供セル物  
ナルヤ知ラサル者多シ然レトモ我邦ニテモ大鎌ヲ使用セル地方ナキニアラス福岡縣出品中  
ニハ三尺ノ長キモノアリ又長野縣ニテモ大鎌ヲ用フ此度ノ出品中ニハ一尺二寸位ノ物ナレ

トモ猶是ヨリ長キ物アリ只柄ノ製造ハ眞直ニシ外テ國ノ製ニハ及ハサルナリ又「シツクル」ハ我  
邦ノ鎌ト用ヲ同ウスル物ニシテ其製法ハ表ニ鋼ヲ付クルヲ常トス我邦ニテハ從來岩手縣下  
ニ於ケル鎌ハ多クハ表鋼製トナセリ表鋼製ハ刈ル毎ニ及ヲ損スル患ヒ少シト云フ稻扱ハ從  
來伯耆稻扱ノ名高ク各地方ニ發賣シタル物ナルカ近來處々ニテ製造スル者多ク形狀ヲ變シ  
テ面取トナシ之ヲ厚ク製シ殊ニ耳鋼ヲ用ヒタル品ハ扱ノ扱離レ宜キヲ以テ大ニ稱揚スル事  
トナレリ又近來ハ排列ヲ彎形ニ製作スル者アリ一層便利ナリト認ム此彎形稻扱ハ佐渡國佐  
渡郡羽茂本鄉村金子宗藏ノ發明品ニシテ專賣特許ヲ受ケ各地方ニ賣捌ヲナスモノナルヨシ  
當時大阪市西區立賣堀南通二丁目原田利兵衛ノ手ニテ内地ハ勿論遠ク韓國ニ販路ヲ開キ其  
數頗ル多大ナリト云フ此種ノ器具ヲ外海ニ輸出スルニ至リタルハ賞スヘキナリ其他稻扱中  
ニハ種々ノ考案ヲ下ス者少ナラスト雖未タ良好ナルモノ少シ西洋ニ於ケル脱稈機原名「スラ  
シングマシーン」テフ物ハ多量ノ穀類ヲ打簸スル機械ナレトモ我邦ノ如キ小農家ニ適シ難シ  
然ルニ埼玉縣北足立郡大谷村吉田爲次郎出品中ニ人力脱稈機アリ寫眞第十一圖洋式ノ形ニ  
ヨリテ人力用ニ變製シタルモノナリ此機械ハ水車等ニ附屬シテ使用スレハ甚タ便利ナルハ  
シ其外大阪市南區難波西圓手町三澤友吉出品ノ脱穀機和歌山縣海草郡日方町武田保兵衛奈  
良縣磯城郡多村澤田増吉出品ノ麥打器械ハ大麥稈麥等ヲ脱稈スルニ使用スルモノナリ從來  
麥穂ハ扱キ落シタル後ニ連枷ニテ打チ唐箕ニテ簸ルヲ常トス然ルニ此器ヲ用フレハ連枷ニ  
換ハリ速ニ穀稈ヲ分離スルニヨリ大ニ勞力ヲ減スヘシ寫眞第十二第十三第十四圖



糶摺器械ハ普通糶ノ外機械的ニ製造シタル物アリ愛媛縣温泉郡道後湯元町野中金五郎奈良縣北葛城郡高田町櫻根逸郎島根縣八束郡竹矢村後藤傳之丞ノ出品アリ何レモ新規ノ考案ト云フヘシ而シテ野中金五郎ト櫻根逸郎ノ器械ハ稍可ナレトモ皆未タ完全ナリト認トルコトヲ得ス宜ク今一層ノ改良ヲ加ヘラレンコトヲ望ム糶摺糶ハ其心棒ヲ鐵製ニ改良シタルモノ多シ廻轉ヲ輕快ナラシムルニハ至極宜シト雖其中多少ノ便否アリ多クハ物理學等ノ心得ナクシテ製作シタル爲メ無用ノ處ニ手數ヲ要シタル物多ケレハ宜ク其等ニ注意シテ改良スヘシ

貯藏ニハ米俵ト貯藏紙袋トアルノミ熊本縣ノ肥後米輸出同業組合出品ノ米俵ハ舊藩政ノ頃嚴重ノ制度アリテ肥後米ノ名高カリシニ廢藩後其制度廢頽シ殆ント其跡ヲ絶ツニ至レリヨムテ有志者之ヲ憂ヒ組合ヲ立テ取締ヲ嚴重ニ爲シ猶一石三ツ割俵ナリシヲ四斗入トナシタル爲メ漸ク信用ヲ回復シタリト云フ曾テ函館ノ遠藤吉平ト云ヘル人俵製ノ粗造ヨリ毎年ノ減損米ヲ種々ナル材料ニヨリテ統計シタルニ凡二百萬石前後ナリト云ヘリ近年此減損ヲ要フル者少カラス追々組合ヲ設立シテ嚴重ニ取締ヲナス者多シ防長米同業組合近江米同業組合肥後米輸出同業組合宮崎縣米商同業組合ノ如キ追々其功ヲ奏シタルモノナリ又大分縣ノ如キハ縣令ヲ以テ其取締ヲ嚴重ニセル等アルニ至ル宜ク其地方トモ此ヲ以テ大ニ其取締ヲラン事ヲ望ム兵庫縣西田茂八郎出品ノ貯米袋ノ穀類ヲ貯藏スルニ用フル時ハ蠹蝕ノ患ナシ自家貯藏ニハ之ヲ使用シテ可ナリ

運搬器ノ出品ハ多ク通運館ニ陳列シ農業用トシテハ殆ント出品ナシ唯東京市渡瀬寅次郎出品ノ孤輪車アリ此車ハ西洋ニテハ常ニ勞働者ノ使用スル物ニテ一人三十貫匁前後ノ物品ヲ運搬スル事容易ナリ從來アル猫車ト稱フル一輪車ヨリハ輕便ナルモノナレハ宜ク之ヲ試用シテ可ナリ(孤輪車ノ圖ハ第四回博覽會報告書ニ詳ナリ)

糶蠶器具

此種ノ器具モ前會ト大ニ異ナル物ナシ桑切鎌ノ中ニハ其形狀頗ル大ナル物アリ桑ノ新梢ヲ刈ルニ用フルモノナレハ宜ク小形ニシテ銳利ナルヲ良トス群馬縣地方ニ行ハル、形狀ハ便利ナリト認ム桑切庖丁ハ其形狀種々アリ大ニ過クルアリ厚キニ過クルアリ夫等ハ皆不便ナル物ナレハ宜ク注意シテ適應ナルヲ撰ムヘシ今各地行ハル、所ノ普通ノ形狀ヲ寫眞シテ參考トス(寫眞第十五圖第十四圖ノ内製簇器械拾簇ヲ作ル器ナリ)ニハ近來便利ナル物ヲ出セリ中ニハ專ラ廉價ナラム事ヲ主トシ粗造ノ品多ク容易ニ破壊スル患アリ宜ク堅牢ニ製造スルヲ可トス

福島縣伊達郡桑折町佐藤嘉平出品ノ蛆害鑑別器(代價七圓五十錢)ハ光線ノ作用ニヨリテ蛹ノ被害ヲ識別スル道具ナリ蠶種製造家ニハ必要ナルヘシ

動物飼養管理器具

孵卵器ハ東京市麻布區廣尾町東京孵卵器合資會社及大阪市南區生野國分町重枝正樹ノ孵卵器並ニ育雛器ニシテ皆輕便ナル裝置ナリ歐米諸國ニテハ孵卵器ヲ使用シテ盛ニ孵化ヲナス



者アリト雖我邦ニ於テハ未タ此方法ニ至テ幼稚ナリトス又養蜂器モ大阪市南區天王寺堂ケ芝町諏訪育ノ出品アリ蜂蜜ハ歐米ニテハ日用必需ノ物トス我邦ニテモ是等ノ業ハ農家ノ副業トシテ盛大ニ發達セン事ヲ望ム本人ハ養蜂家ニシテ蜜蜂ヲ出品シ衰狀ヲ得タリ(解卵器及養蜂器ノコトハ家禽及蜜蜂ノ報告書ニ載ス)

家畜駕馭器具

乘馬具ニハ品質製作トモ良好ナル物アリ東京市小松崎茂助出品ノ如キハ就中優等ナリト認ム近來清韓兩國ニ輸出スルニ至レルハ實ニ嘉スヘシ東京市瀧本八十八出品中落馬ノ危險ヲ豫防スルノ考案ハ却テ落馬ヲ誘起スルノ虞アリ北海道松岡松藏出品ノ腹帶ハ乾濕ニ遇ヒテ伸縮シ實用ニ適セサルノ患アリト認ム

煙草製造器具

煙草製造用器具ハ煙草庖丁數點アルノミ別ニ評スベキ程ノ事ナシ然レトモ近年卷煙草製造機械ハ大ニ發達シ今回機械館ニ出品シタル東京市銀座三丁目岩谷松平ノ機械ノ如キハ紙ニ印刷スルヲ始トシ紙ヲ卷テ之ニ口紙ヲ截チ卷キテ之ヲ差込ミ夫レニ刻煙草ヲ差込迄ノ仕掛ナリ其瞬速ナルコト一時間ニ熟練ナル職工ニテ千本乃至千二百本ヲ製造スト云フ此他尙各種アルモ機械館ノ報告ニ譲リテ此ニ省ク

製茶器具

製茶用器具ハ茶篩茶箕ノ類ニシテ静岡縣周智郡森町安本長吉出品ノ茶篩ハ製作佳良ナリ其

外茶枝ヲ刈ル木鋏ノ出品アレトモ茶枝ハ銳利ナル鎌ヲ以テ刈ルヲ善トス鋏ニテ刈ル時ハ枝梢ヲ損スルノ虞アレハナリサテ本部ニハ別ニ異リタル器具ノ出品之ナシト雖近年種々ノ製茶機械ヲ發明シタル者アリ今回機械館ニ出品シタル静岡縣由比町望月發太郎小笠郡西方村松下幸作三重縣鈴鹿郡庄野村森田忠四郎出品ノ如キハ皆人力ヲ省キ多量ヲ製造シ得ヘシ望月式ノ如キハ大阪製茶模範場ニ於テ使用セリ聞ク所ニ據レハ下總印旛郡佐倉同協社ノ如キハ百町歩ノ茶園ヲ有シ近年製茶ノ價下落セシヨリ殆ント收支相償フコトヲ得ス困難ノ苦境ニ遭遇シ居タリシニ望月式ノ機械ヲ据附ケ試ミタルニ之カ爲メニ努力ヲ節減シ方今ニ至リテハ大ニ愁眉ヲ開クニ至リシト云フ機械ノ功大ナリト謂フヘシ

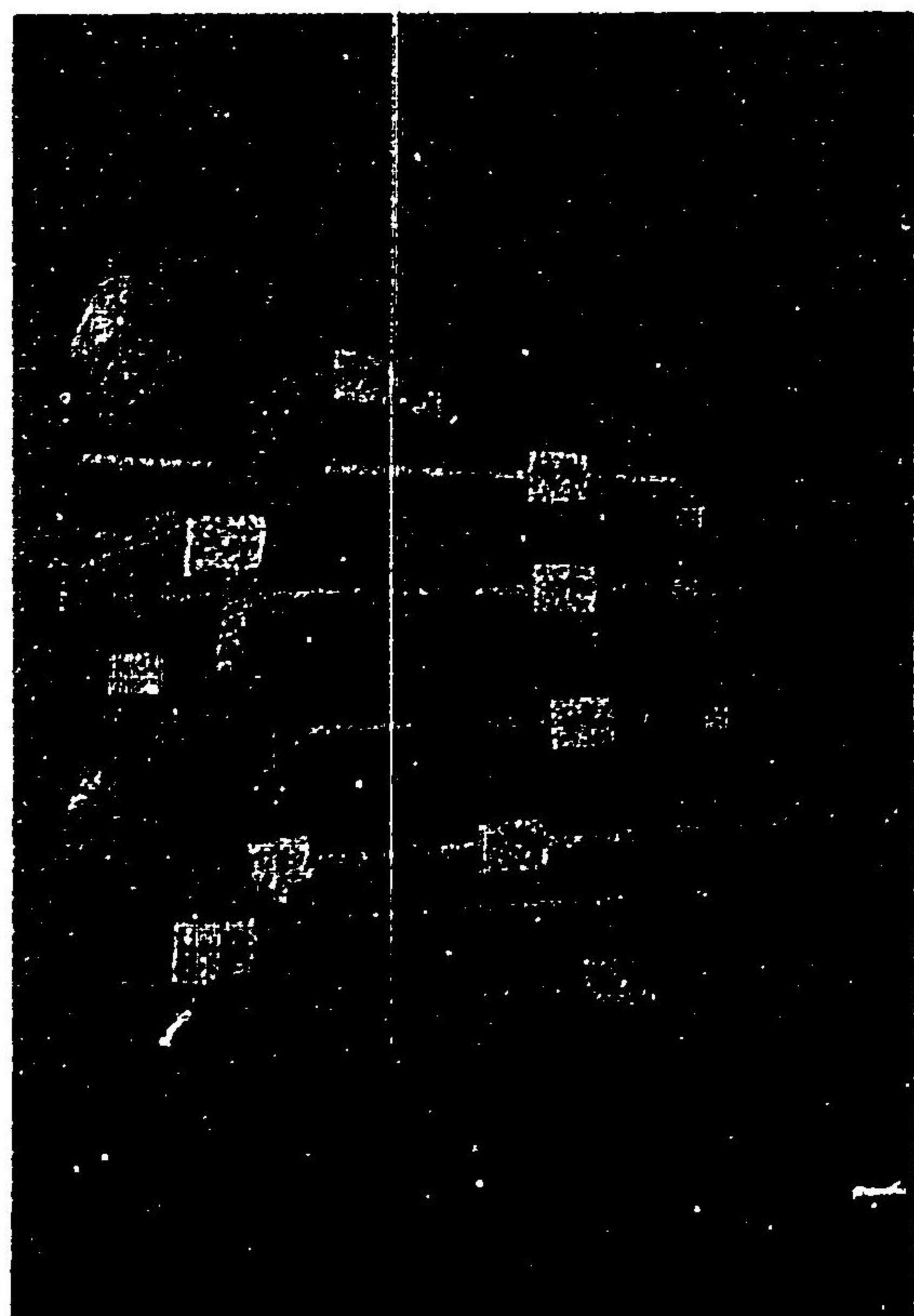
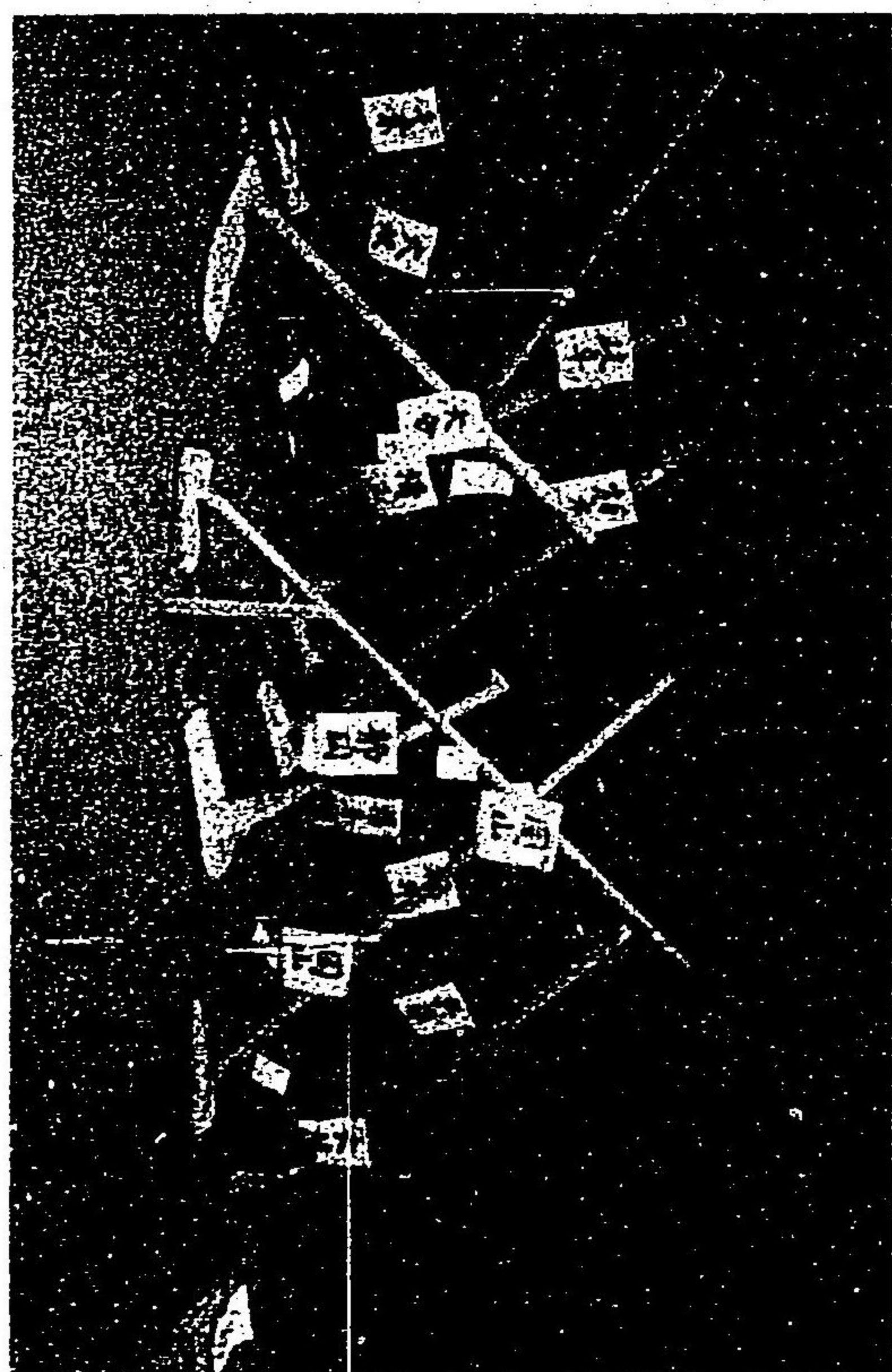
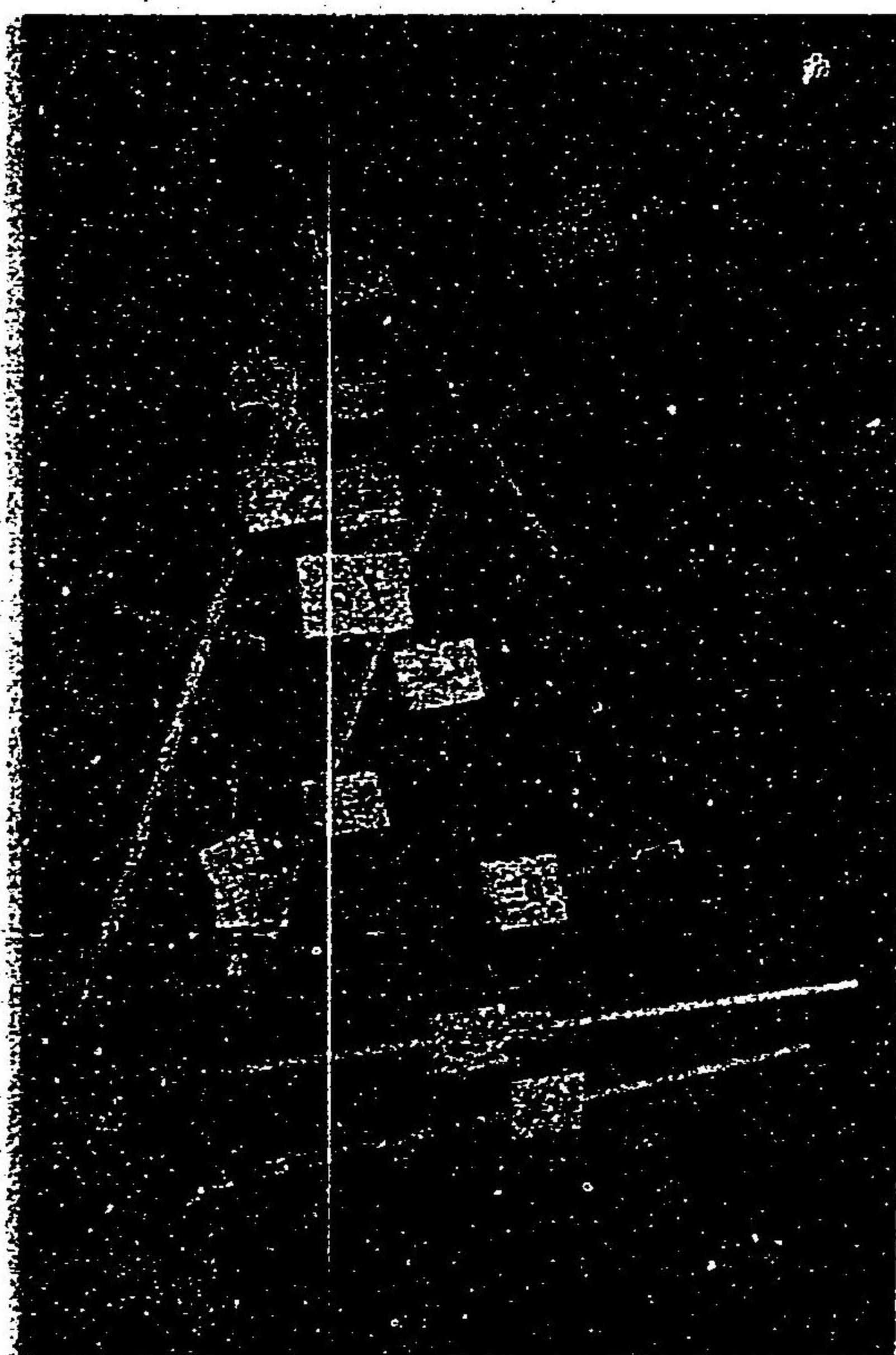
飲食製造器具

此類ニハ菓子打物型煎餅型菓子庖丁等ノ類ニシテ別ニ評スヘキ事ナシト雖機械館中出品ノ素麵製造機械ノ如キハ頗ル精巧ナルモノナリ伊太利製ノ「ウエルミセリー」即チ西洋素麵ノ製法ハ壓搾シテ製出スルノ仕掛ニシテ我邦ノ線香製造法ノ類ナレトモ佐賀縣佐賀郡巨勢村眞崎照郷新式ノ素麵製造機械及ヒ佐賀市點合町鶴澤榮吉出品ノ素麵製造機械ハ伊太利式ト其方法ヲ異ニシ數線ヲ備ヘタル「ルール」即チ壓轉器ニヨリ切り出サル、モノナリ其瞬速ナルコト實ニ衆目ヲ驚カセリ此器一度世ニ出レハ從來ノ手先ニテ製造スル業ハ竟ニ廢止スルニ至ルヘシ既ニ眞崎新式機械ノ世ニ出テシヨリ各地ノ素麵製造ヲ容易ナラシメタリシ

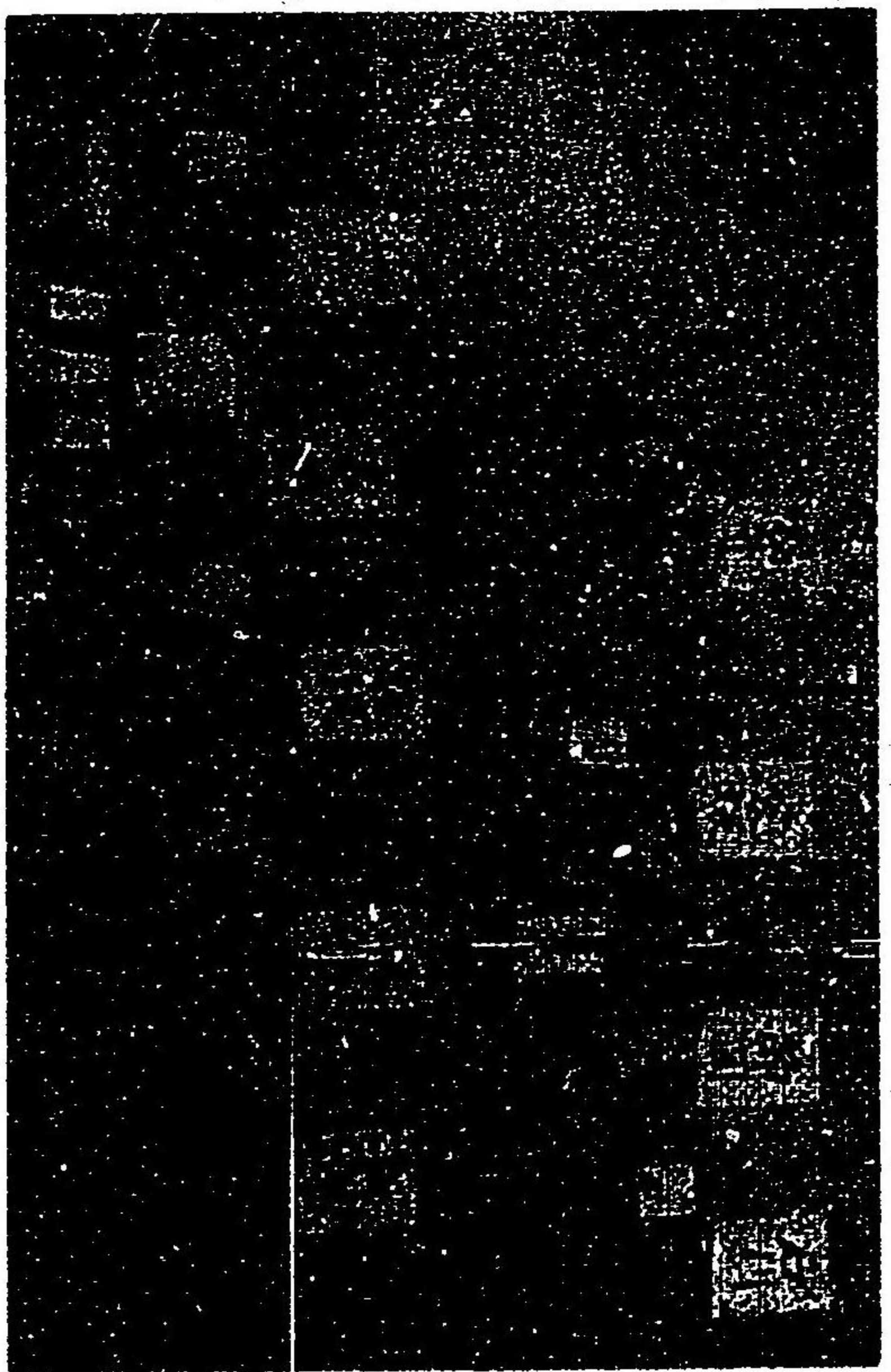
農業及農産製造用器具ノ模型及圖案



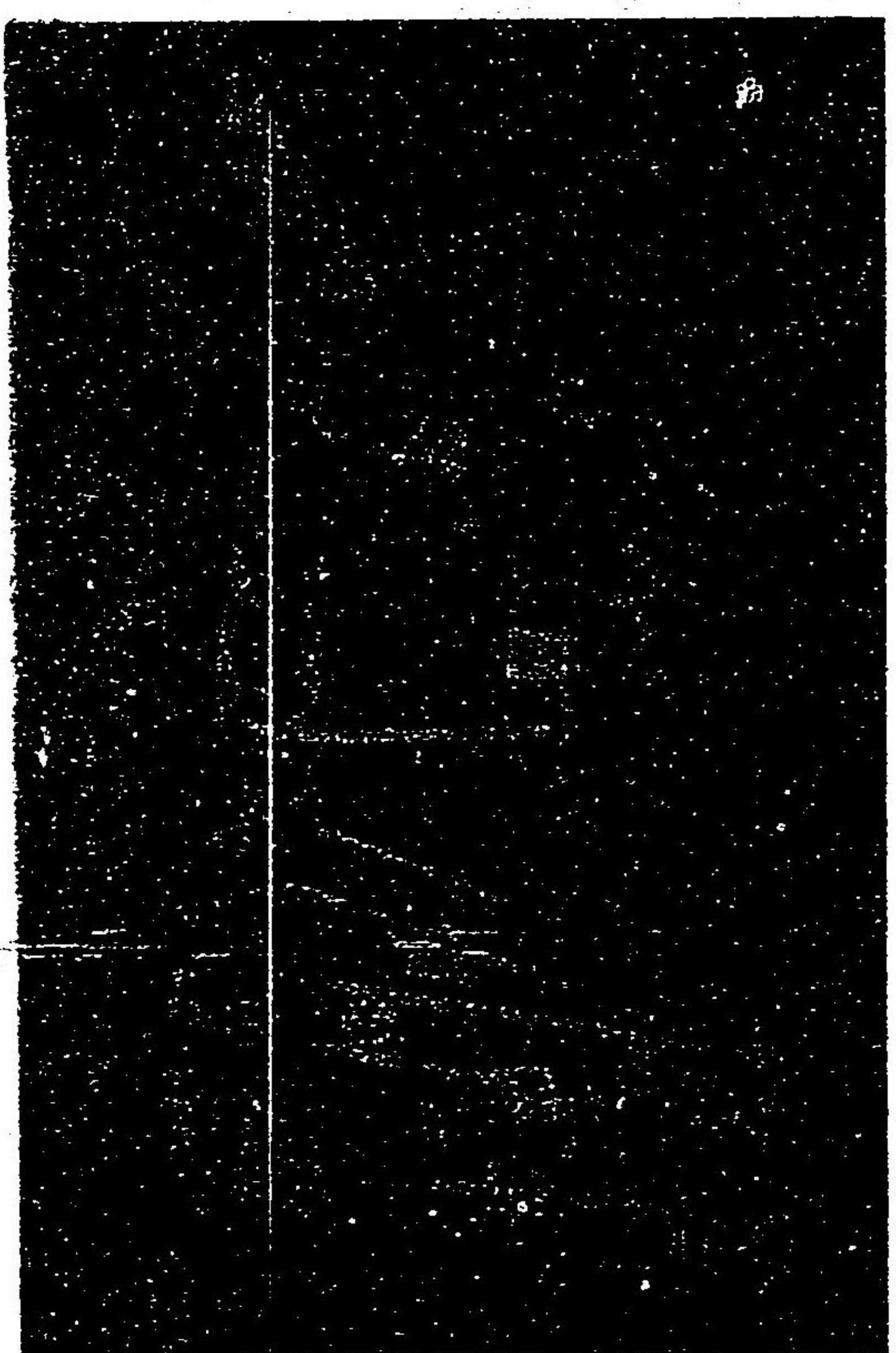
此種ノ出品甚タ少ク評スヘキ程ノコトナシ  
前述ノ如ク農具類ニハ新意匠ニシテ製作ニ大ニ便利ナリト認ムル物甚タ少キハ遺憾トスル  
所ナリ畢竟耕作者ハ日常不便ヲ感スルコト多シト雖習慣ノ久シキト知識ノ乏シキトニヨリ  
改良ヲ試ル者少ナク又鍛冶工ニテモ日常ノ業務ニ追ハレ耕作者ノ便否ヲ聞キテ之ヲ改良ス  
ル者亦少ク自然改良進歩ノ遲緩ナル顯象ヲ現スナルヘシ皆止ヲ得サル事情ナキニ非サルヲ  
以テ農具改良ノ任ヲ負フ者ハ幸ニ農事試験場ノアルアリ農事試験場ノ如キハ新規有益ノ器  
械ヲ案出スルノミナラス在來ノ器械ニテモ便利ナリト認ムル物ハ之ヲ實地ニ試験シ其可ナ  
ル物ハ其成績ヲ報告シテ之ヲ使用セシメ農具製作所ヲ新設シテ種々ノ器械ヲ製作シ之ヲ實  
地ニ試用シテ可成各地農家ニ使用セシメラレムコトヲ希望ス當局者宜ク深ク思フ致サレン  
コトヲ  
出品中無用ノ裝飾ヲナス者アリ博覽會出品トシテ精良ノ品ヲ撰ミ出スハ之ヲ賣ムルノ限リ  
ニ非スト雖鍬鎌等ニ些シモ實用ニ效用ナキ本磨ヲナシ一見鏡ノ如キ光澤ヲ附シテ精良品ナ  
リト裝フモノアリ是等ノ如キハ着實ナル出品者トシテ見ルヘカラサルモノト信ス自今宜シ  
ク慎シム可キナリ



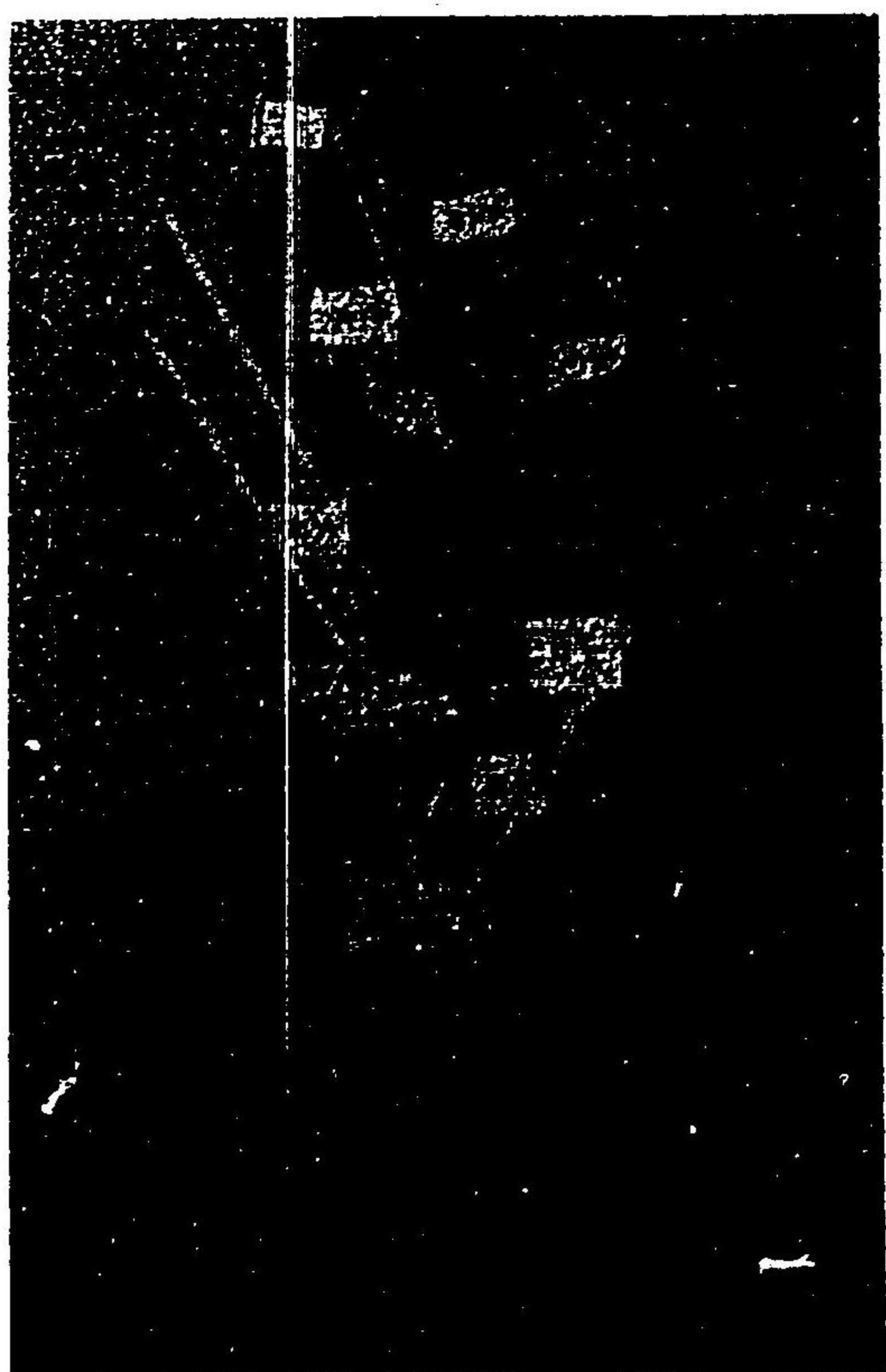




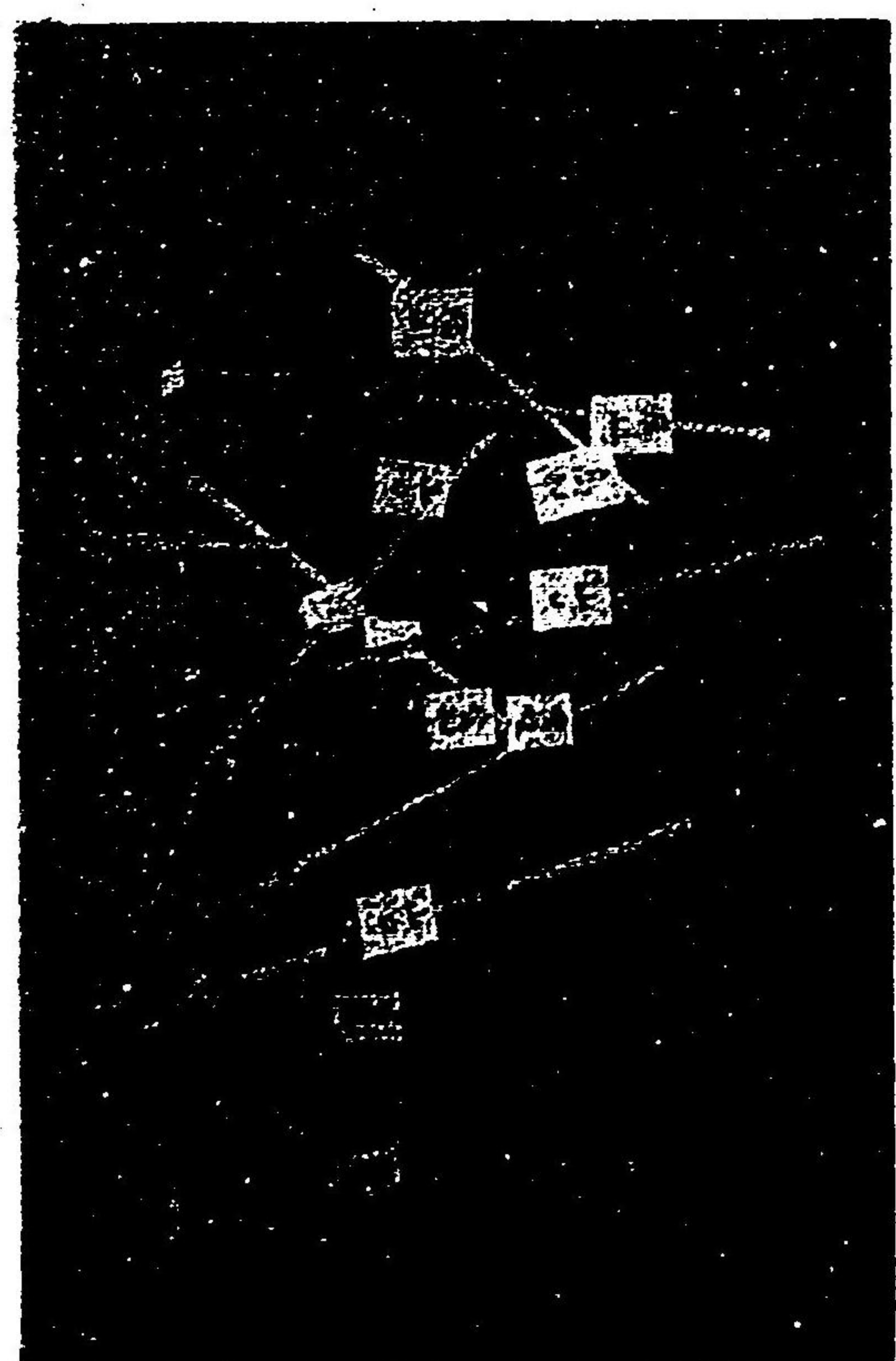
第七圖



第八圖

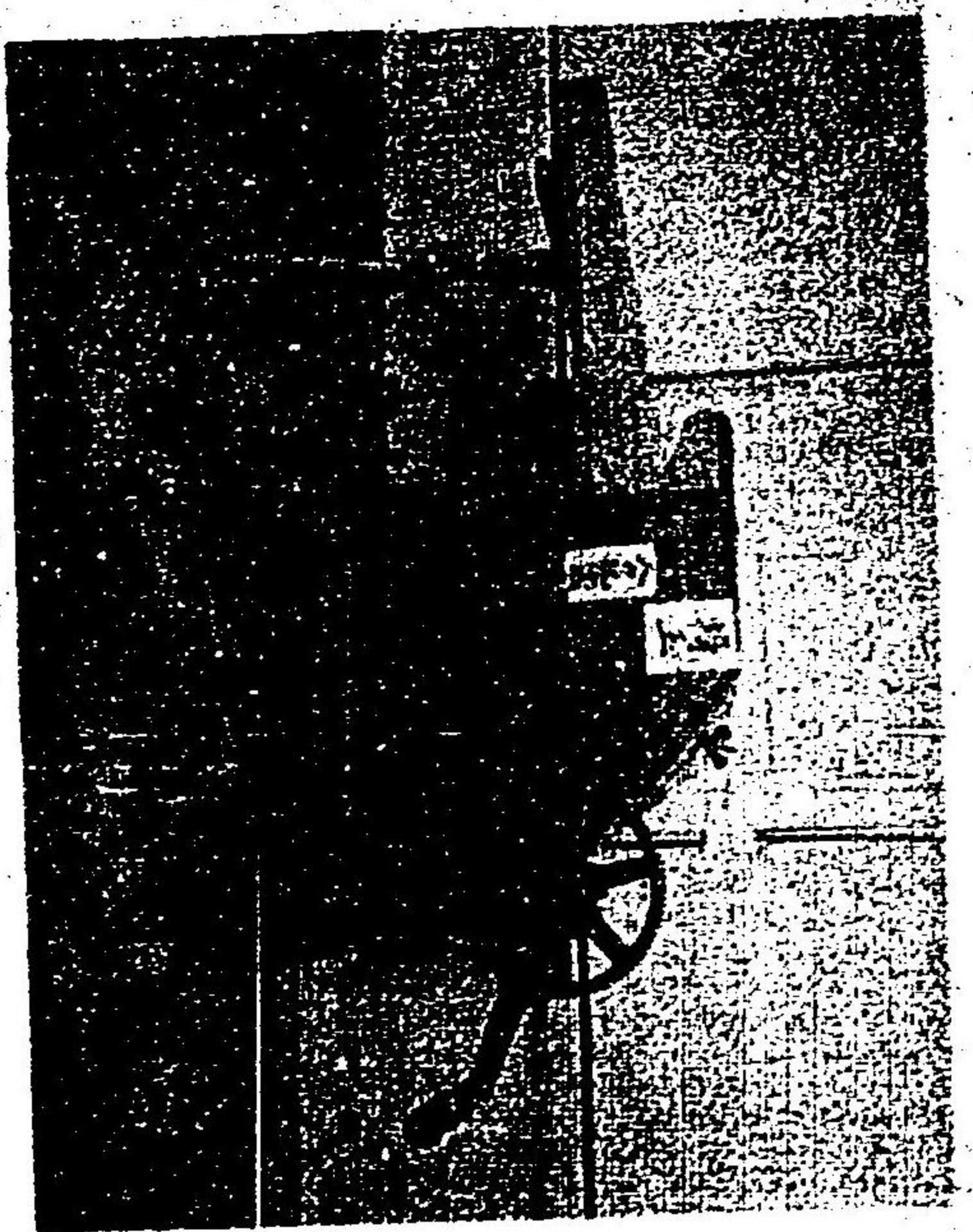


第五圖



第六圖

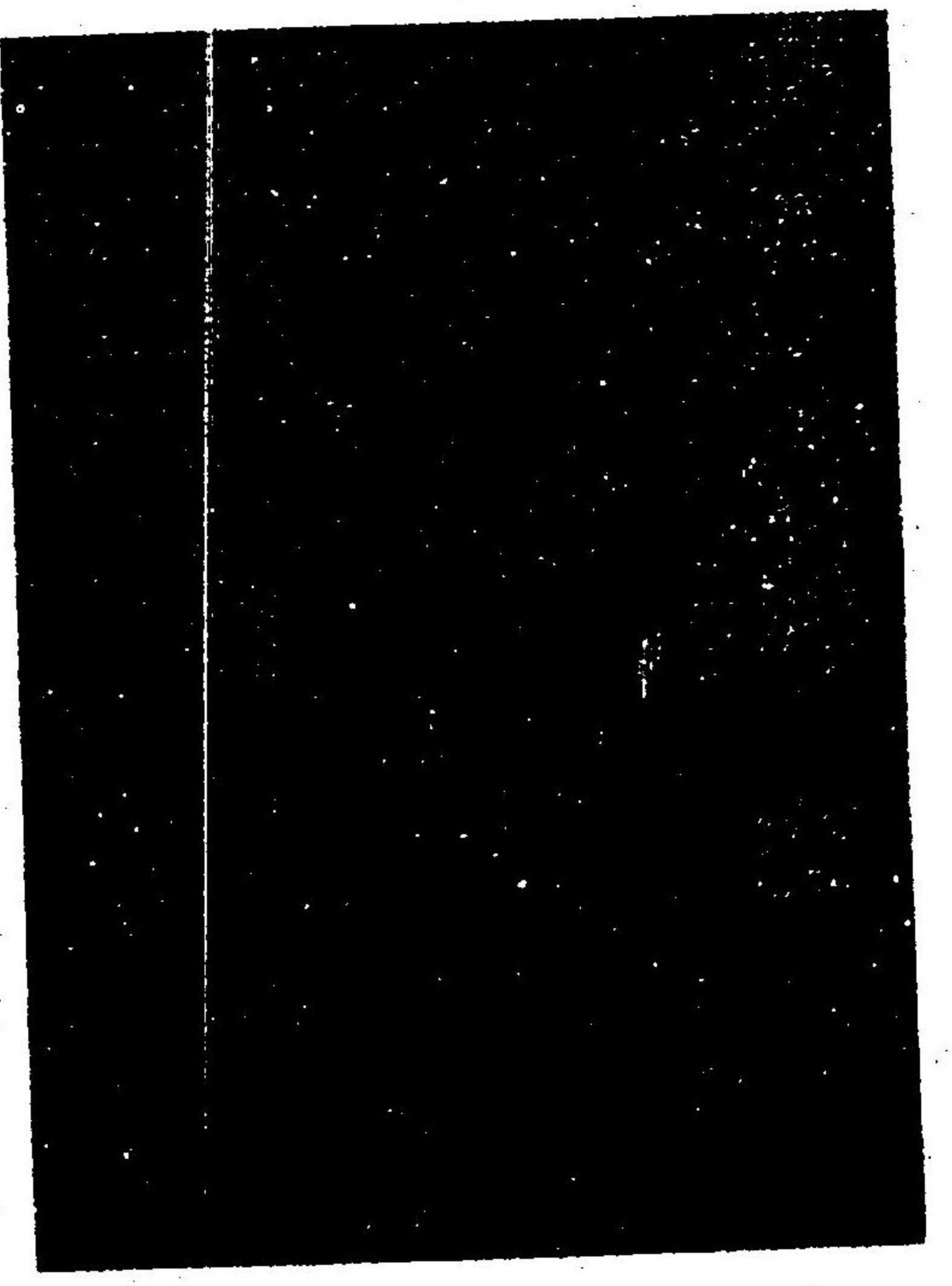




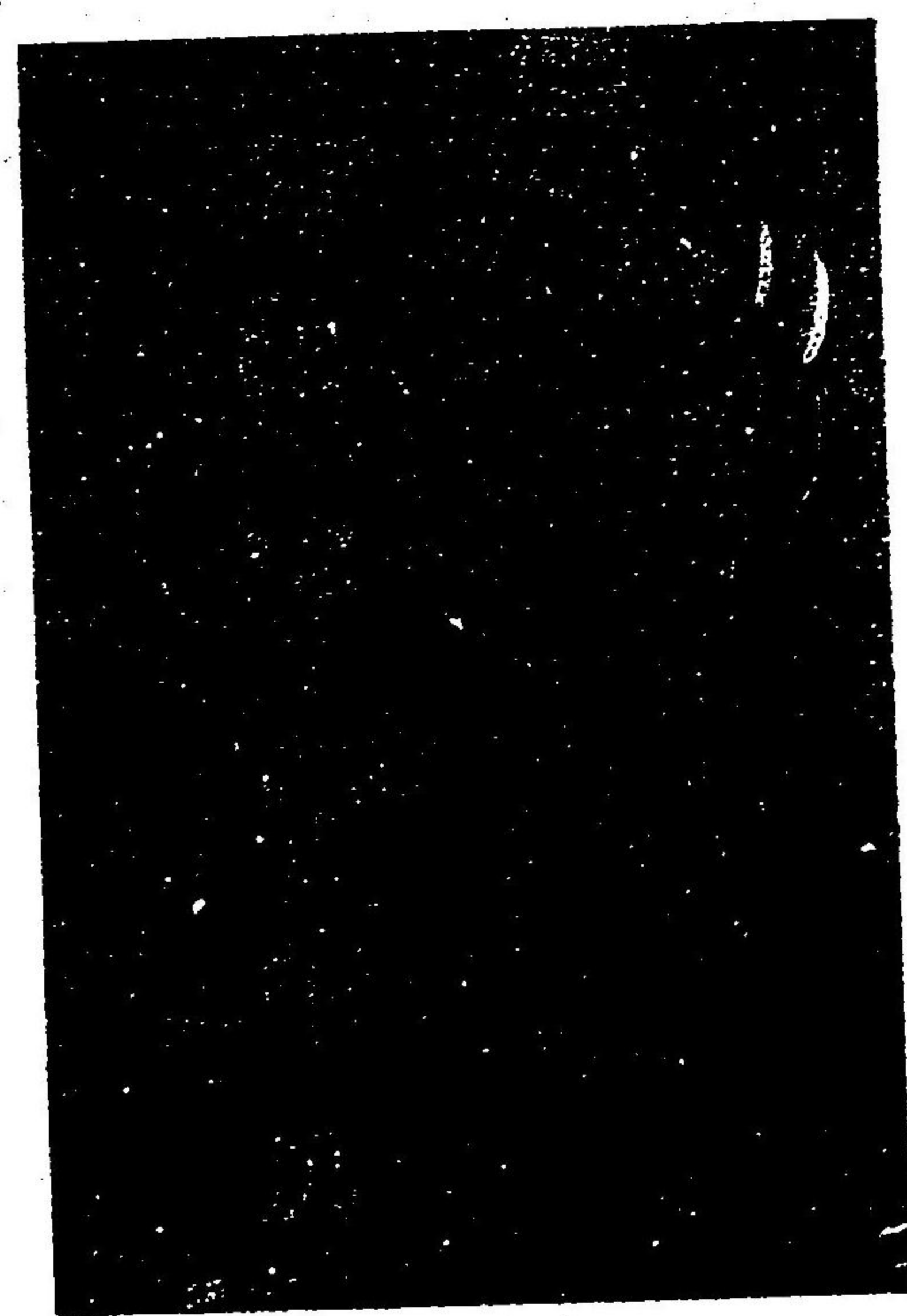
第十一圖



第十二圖

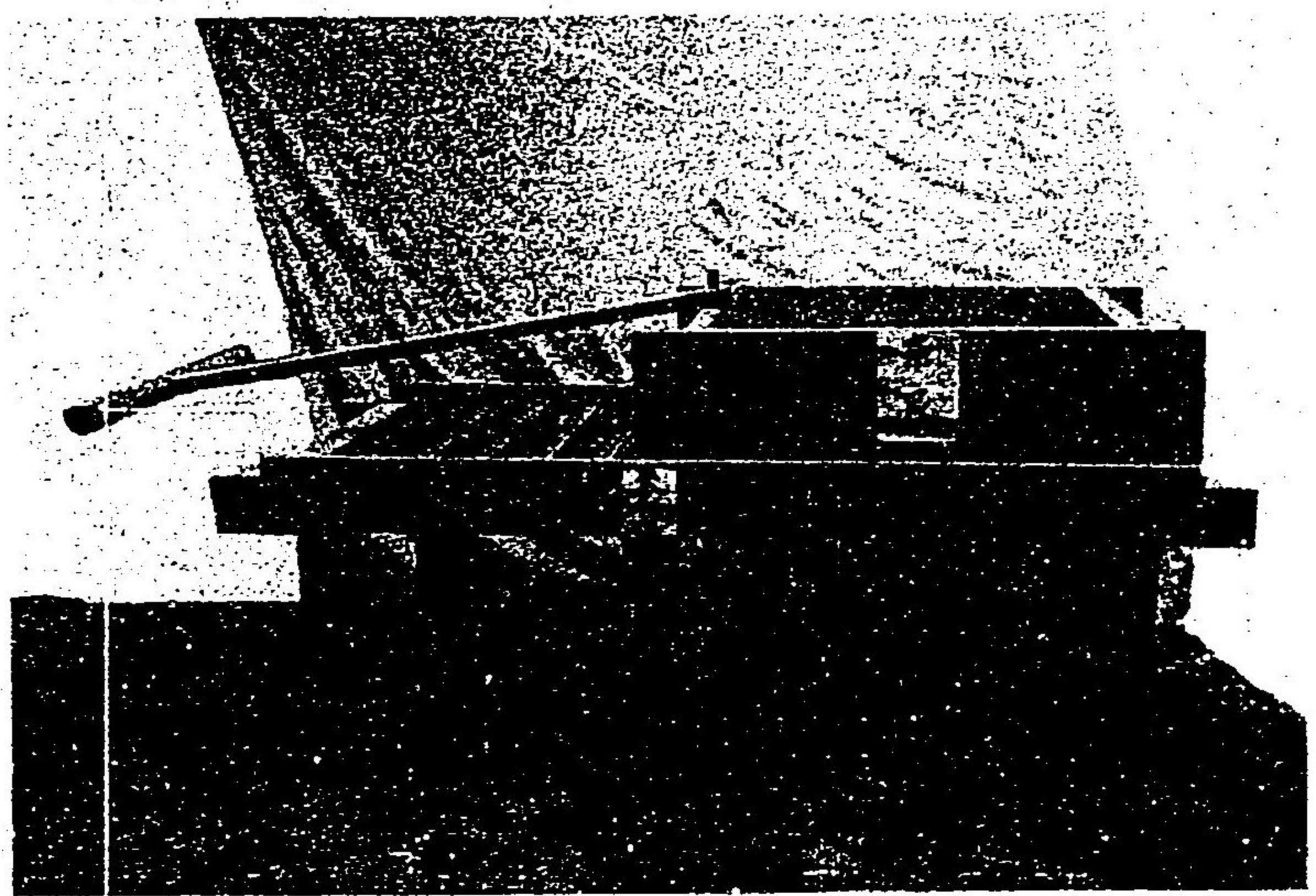


第九圖



第十圖

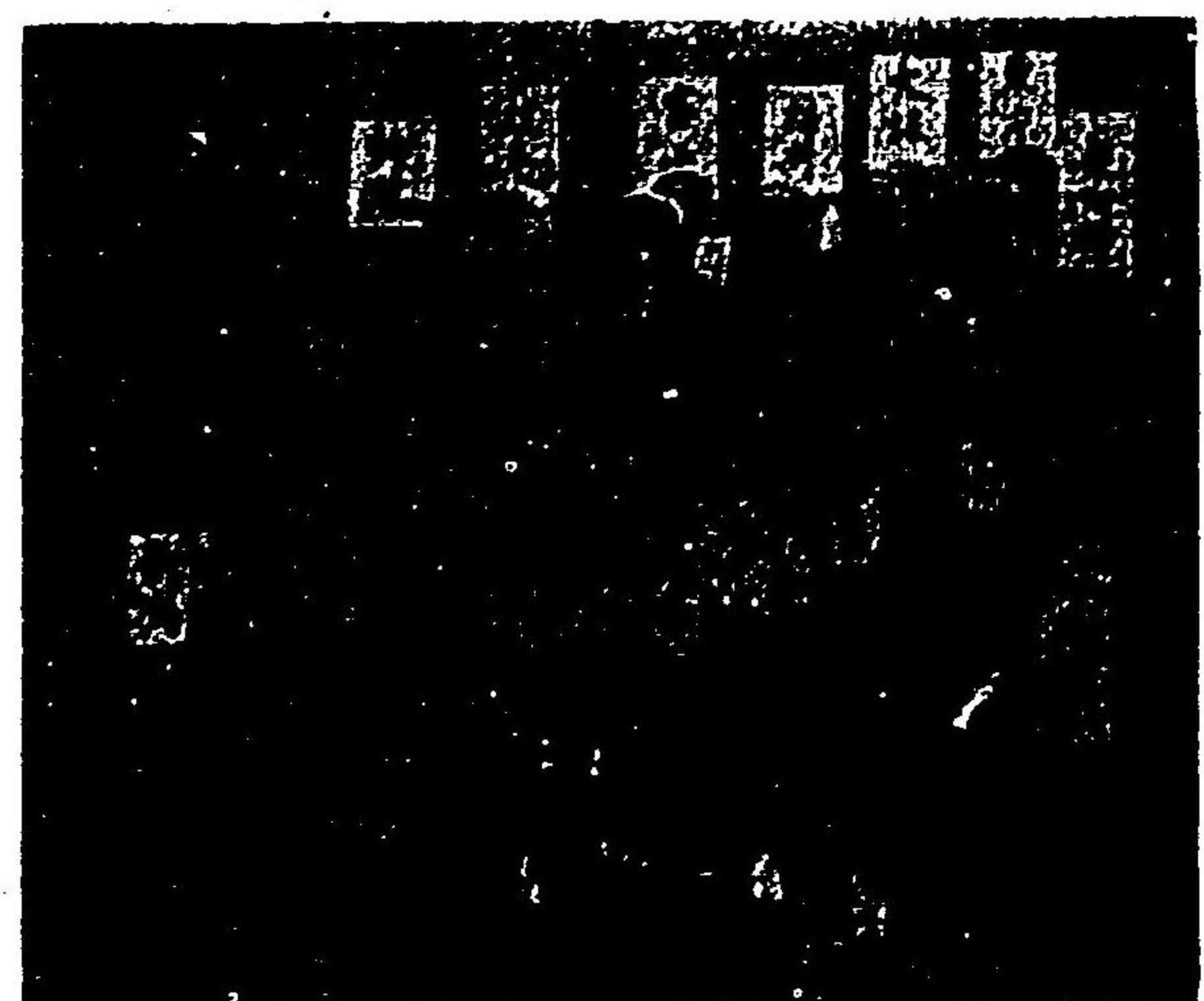




第十三圖



第十四圖



第十五圖



明治三十七年四月廿七日印刷

明治三十七年五月四日發行

定價全一部金貳拾五圓

本卷定價金五十五錢

第五回內國勸業博覽會事務局編纂

東京市日本橋區兜町二番地

發行者 長谷川 正直

東京市日本橋區兜町二番地

印刷者 齋 藤 章 達

東京市日本橋區兜町二番地

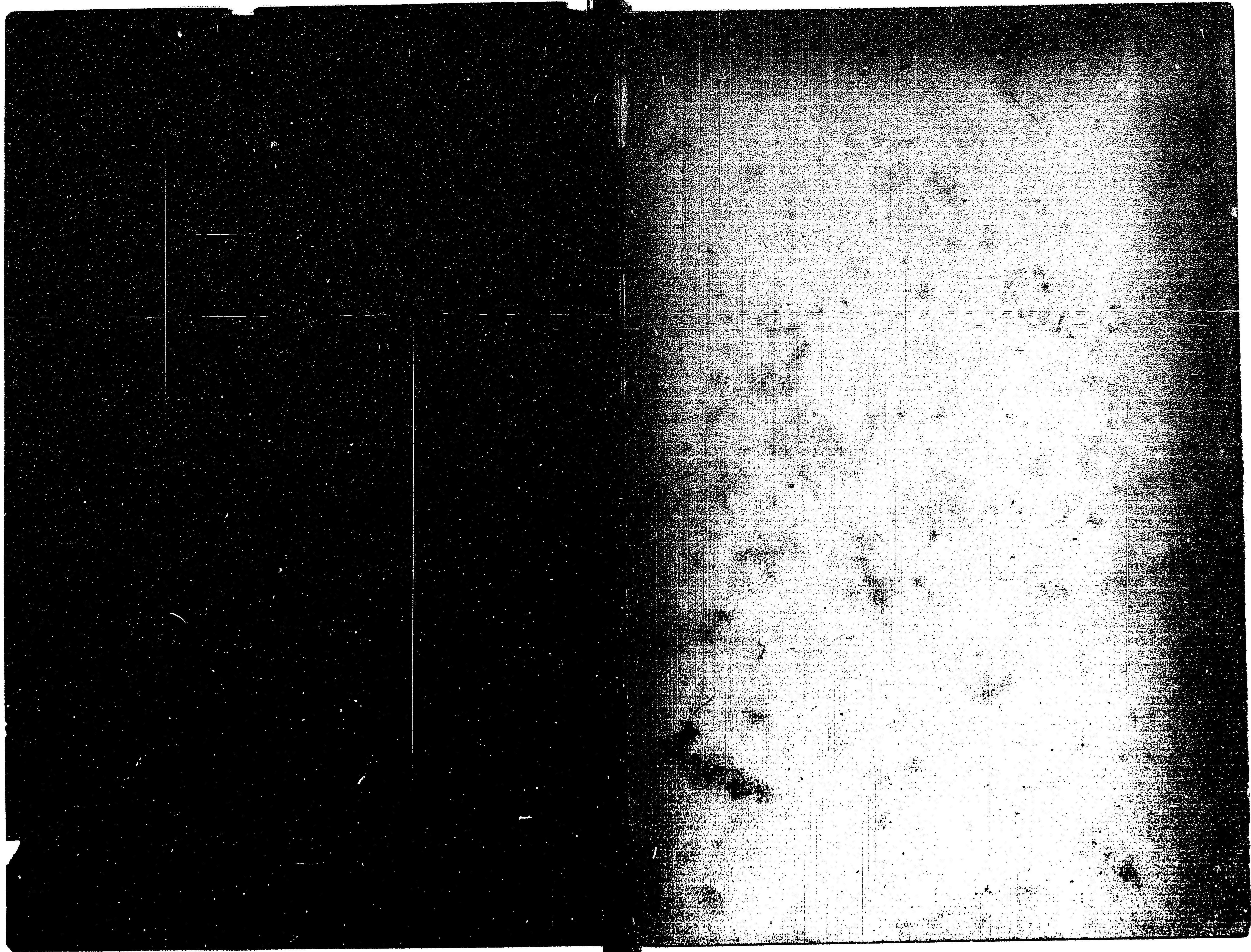
印刷所 東京印刷株式會社



317

21

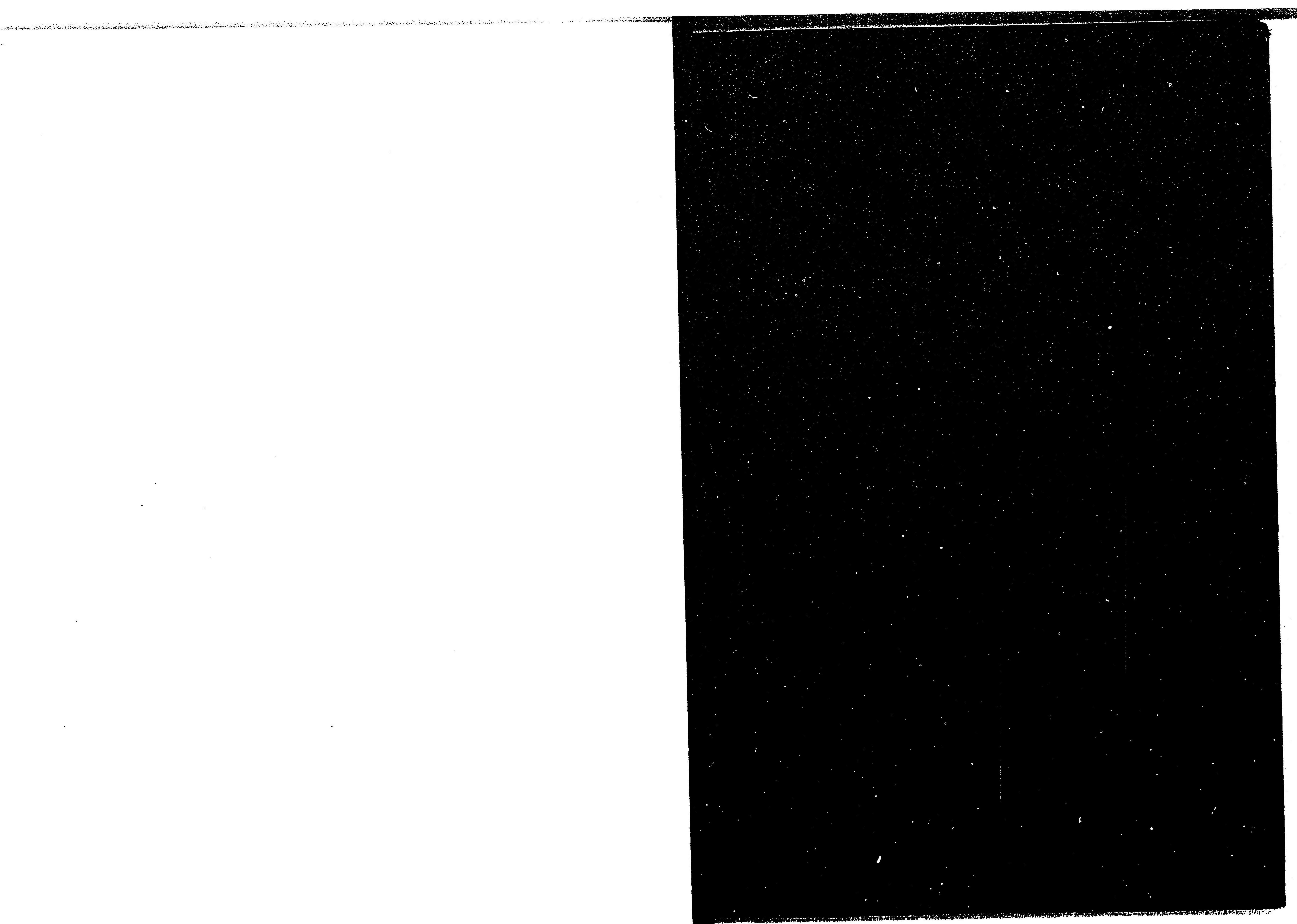






27



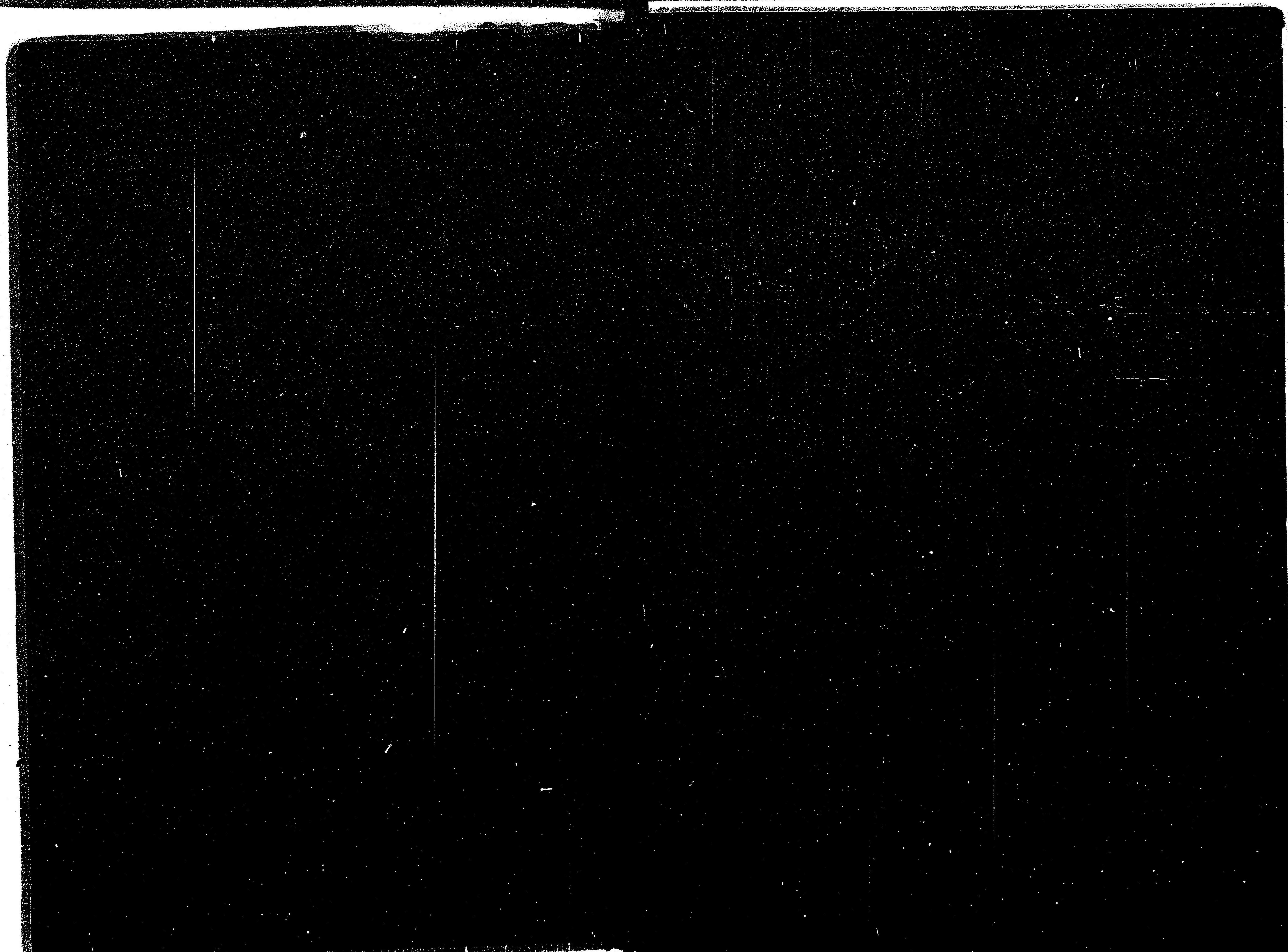




317

21







モ遂ニ其ノ原因ヲ極メ得スシテ諸説紛々タリシヲ聞ク則チ小麥種類ニヨリテ色澤ヲ異ニスルモノ例令ハ春麥ハ黄色ヲ帯ヒ秋麥ハ白灰色ヲ帯ルト云ヒ或ハ水分含有ノ多少ニヨルモノナリト云ヒ或ハ挽立ノ際起ル摩擦熱攝氏五十度以下ナルトキハ黄色ヲ帯ヒ六十度以上ニ上昇スルトキハ白灰色ヲ呈スルモノナリト云ヒ未タ其ノ歸着セル説アルヲ聞カス然レトモ本邦ノ原料ヲ以テ製シタル麥粉ノ概ネ光澤ヲ缺キ且ツ純白或ハ白灰色ヲ帯フル所以ノモノハ左記ノ二原因ニ依ルモノナランカ

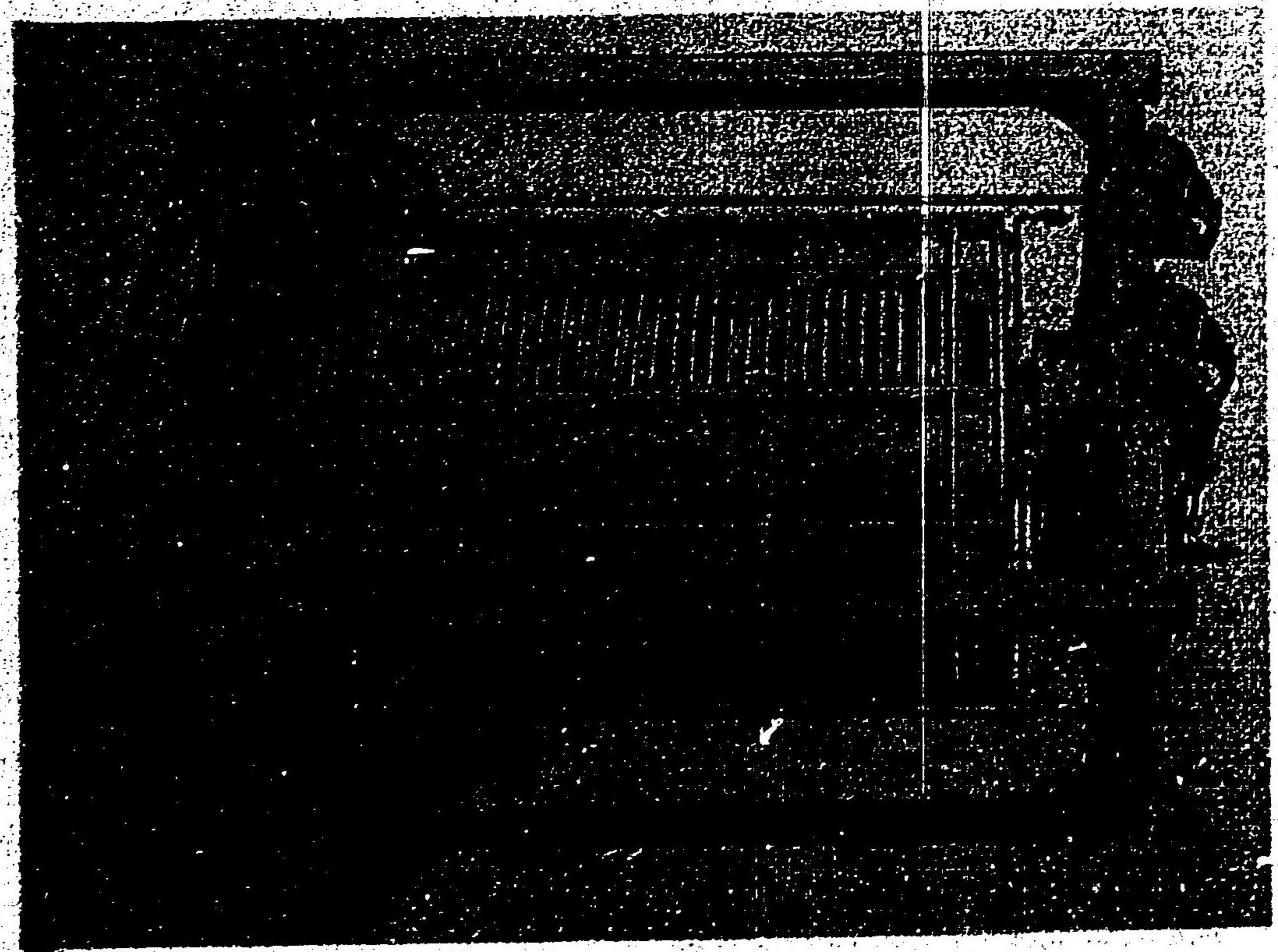
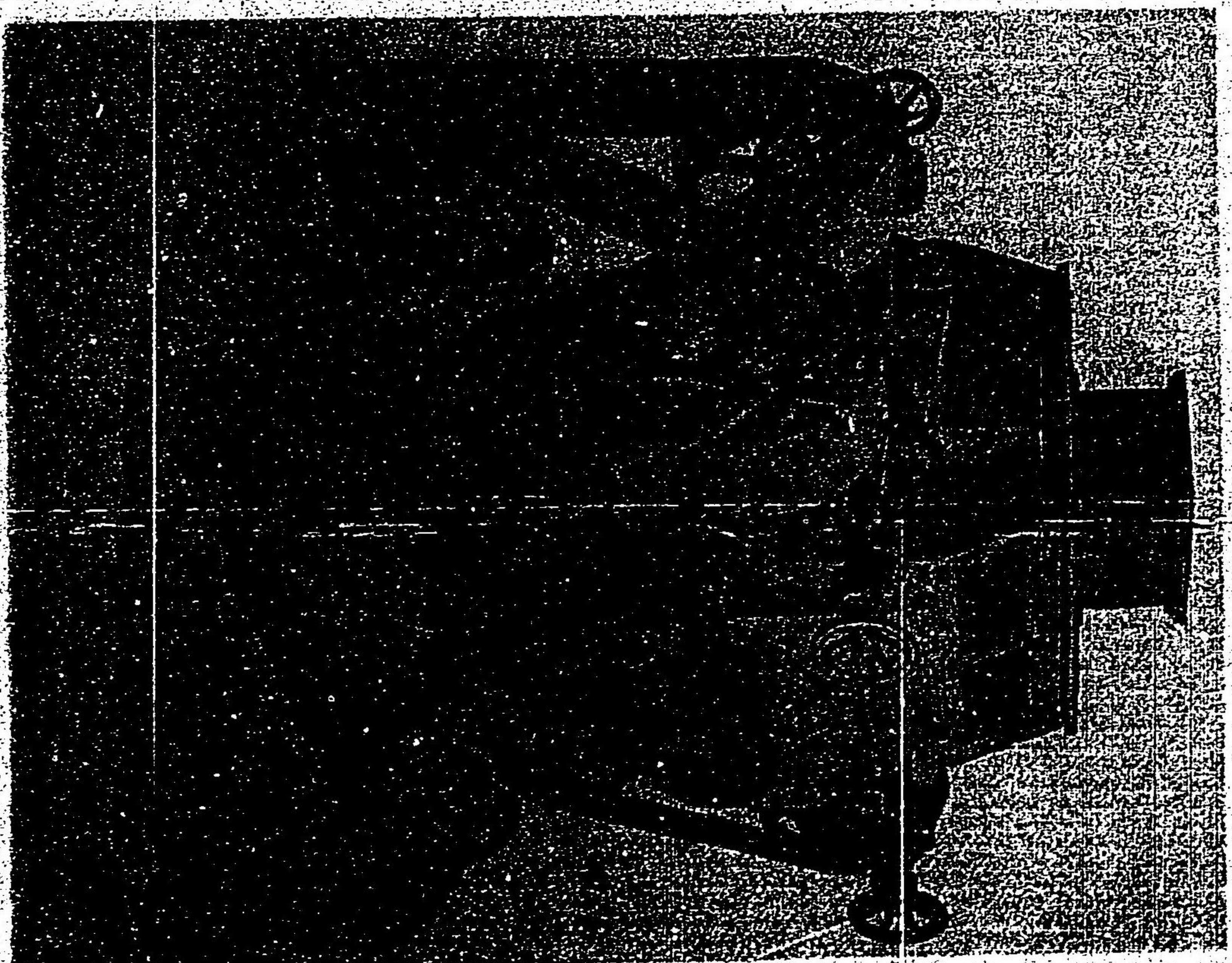
第一 原料ノ品質粗悪ナルコト

第二 本業ノ未タ幼稚ナルコト

第一、本邦産小麥ノ品質ハ米國産ニ比較シテ遙ニ劣等ニシテ光澤ニ乏シク色澤不良且ツ粉量ノ少キコト當業者ノ能ク知ル所ナレハ茲ニ詳説スルノ必要ナシ

第二、本邦ノ製粉業ハ創業日尙淺キ爲メ諸機械ノ不完全ナル殊ニ製造技術ノ拙劣ナル等ハ製品ノ品位ニ多大ノ關係ヲ及スコト論ヲ俟タサルナリ

第三、製粉法ニハ高挽ト下挽ノ二法アリ高挽法トハ則チ漸碎法ニシテ第一ニ芽及外皮ヲ擦脱シ脱芽及ヒ外皮ハ吸氣機ノ裝置ニヨリ吸入セラレ脱穀ハ第一ノ壓碎ニヨリ第一號麥粉、中粉及ヒ第一碎殻トナル之ヲ篩ニカゲ細粉ヲ分離シ再度破碎ヲ行ヒ第四回ノ破碎法ヲ以テ茲ニ製粉ヲ完成スルニアリ本法ハ右述フル漸碎法ナルカ故ニ最初ニ外皮ヲ去リ漸次殻粒ノ内部ニ操作ヲ及スモノニシテ破碎ノ運歩ニ從フテ麥粉ハ次第ニ白色ヲ呈シ全ク品位佳良ノ製粉



機 粉 製

機 篩



宮崎縣 本縣ハ尙幼稚ニシテ一般ニ原質製法不良ナリ宜シク奮勵一番改良ノ策ヲ講セサルヘカラス

鹿兒島縣 木原政吉ノ輕羹風味輕澹ニシテ愛スヘシ特産ノ名ニ負カス「カステイラ」モ亦佳ナリ薩摩八景落雁製ハ粗大ニシテ拙劣ナリ宜シク適度ノ形狀ニ改造スヘシ

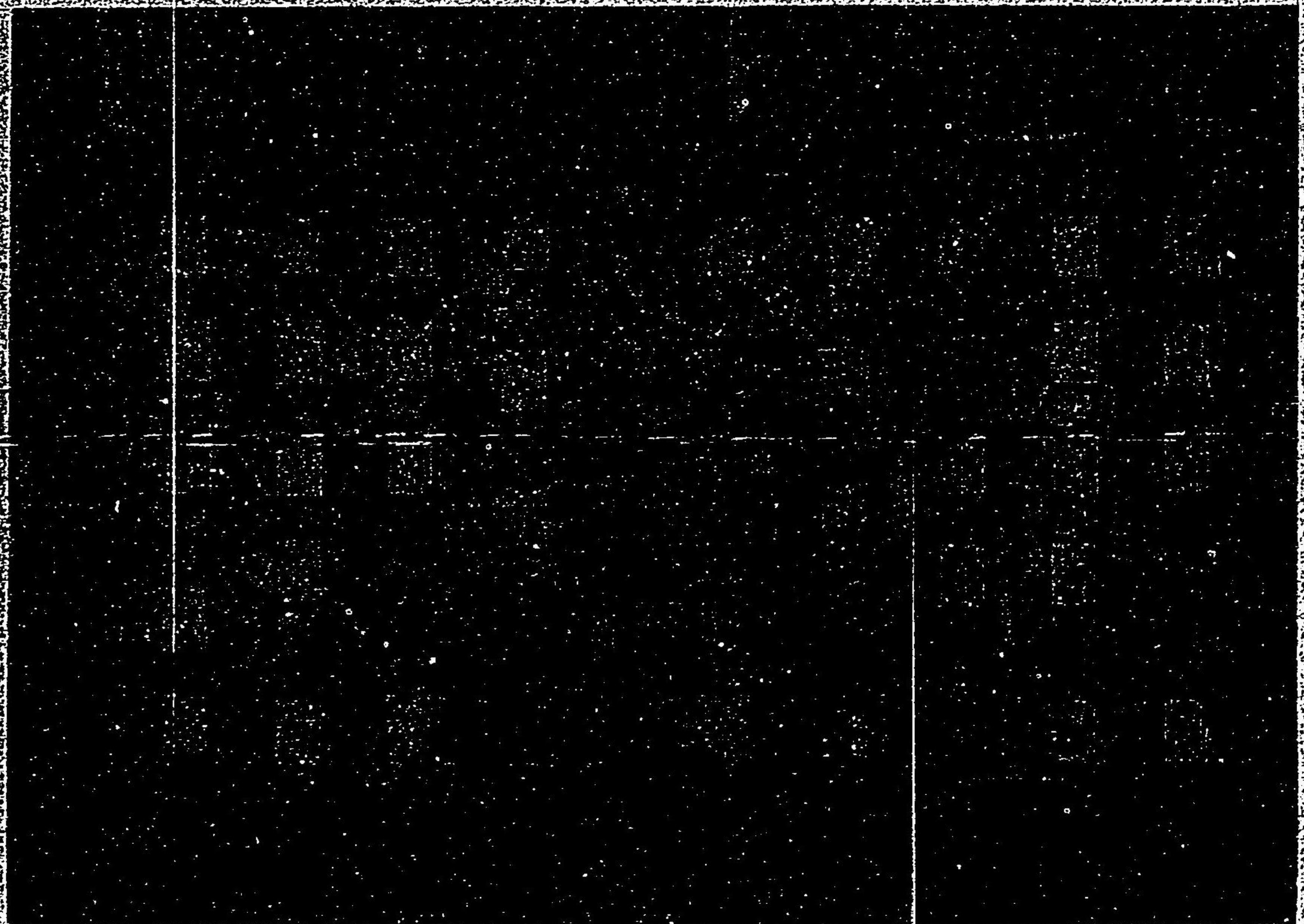
臺灣 出品ノ多クハ飴製ニシテ芭蕉<sup>バナ</sup>實鳳梨<sup>パイナップル</sup>龍眼等ヲ應用セシモノナリ大抵製法未タ熱セス

或ハ配合宜キヲ得ス或ハ火度ノ強弱アリ或ハ香氣已ニ發散シテ些ノ感ナキアリ然レトモ該地ハ此等貴重ノ果實ニ富メルカ故ニ一層改良ヲ圖ラハ前途必有望ナルモノアラム刮目シテ之ヲ他日ニ驗セントス

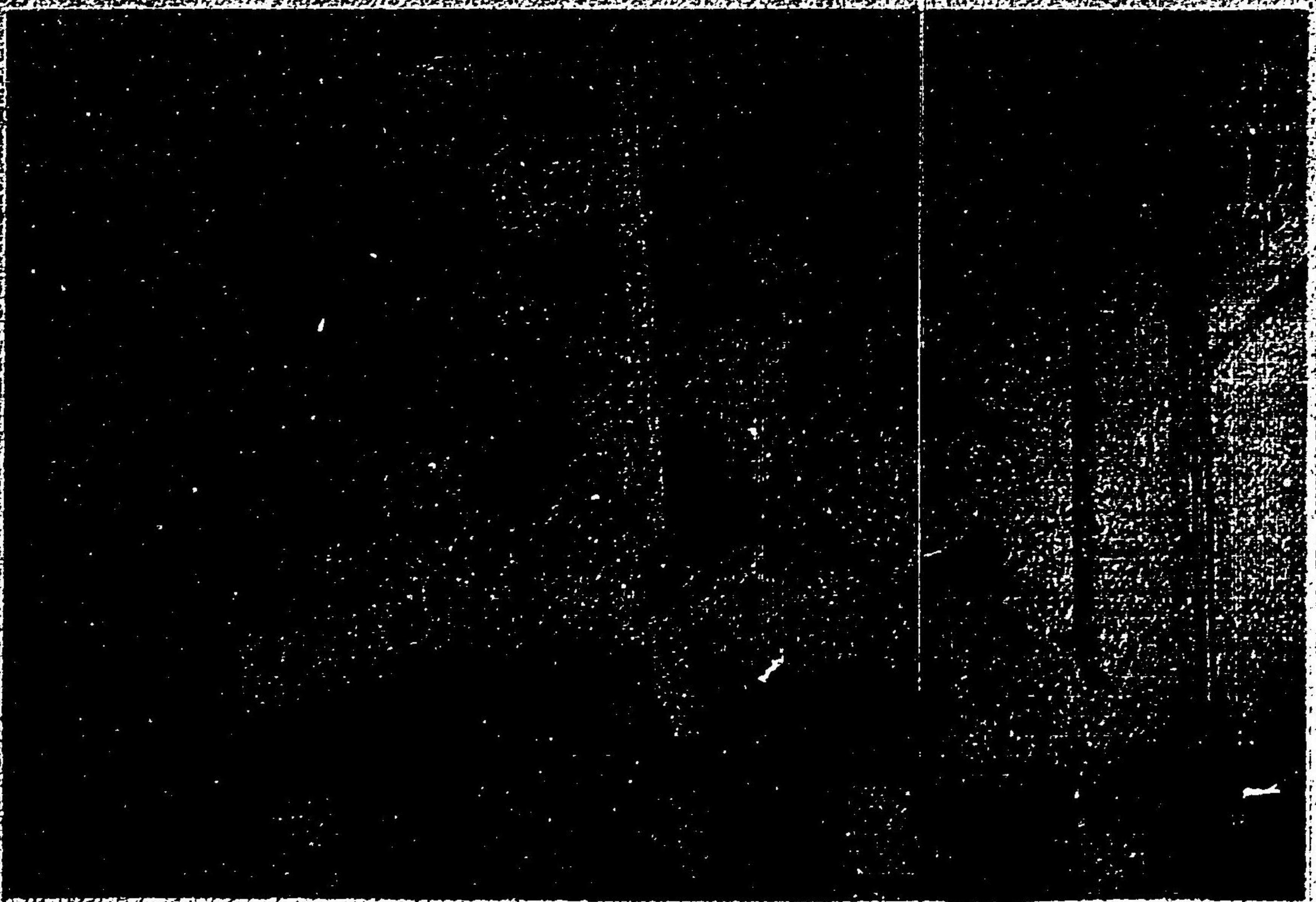
左ニ本會菓子ノ陳列中觀者ノ視線ヲ集メタル東京、京都、大阪ノ三府及ヒ三重、山形ノ二縣ニ於ケル菓子陳列ノ圖ヲ掲ケ次ニ容器ノ得失ニ及ハントス

二十、容器

容器ノ精粗モ亦之ヲ輕忽ニ附スヘカラス何トナレハ容器ハ獨菓子ノ貯存ニ關係アルノミナラス趣味體裁ノ巧拙ニ至ルマテ直接ニ菓子ノ價值ニ影響スレハナリ今回ノ出品ニ徴スルニ容器ノ種類ハ極メテ多シ從來ハ木製ノ箱ヲ用フルモノ多ク煉羊羹ノ如キハ豫皮ニ包マレタルヲ普通トセシカ近來木箱ニ代フルニ紙箱ヲ以テシ若クハ紙臺ニ木片ヲ貼附セルモノヲ用フルニ至レリ其重ニ用ヒラル、モノハ鐵葉製ノ罐ニシテ少シク高尙ナルモノハ種々ノ書僂ヲ燒附ケタルモノ一般ニ行ハレタリ又或ハ硝子壺ヲ用ヒタルモノアリ又書帙形ニ擬セルモ



東京府東洋製菓株式會社菓子陳列



京都府菓子陳列



此種ノ出品甚タ少ク評スヘキ程ノコトナシ  
前述ノ如ク農具類ニハ新意匠ニシテ製作ニ大ニ便利ナリト認ムル物甚タ少キハ遺憾トスル  
所ナリ畢竟耕作者ハ日常不便ヲ感スルコト多シト雖習慣ノ久シキト知識ノ乏シキトニヨリ  
改良ヲ試ル者少ナク又鍛冶工ニテモ日常ノ業務ニ追ハレ耕作者ノ便否ヲ聞キテ之ヲ改良ス  
ル者亦少ク自然改良進歩ノ遲緩ナル顯象ヲ現スナルヘシ皆止ヲ得サル事情ナキニ非サルヲ  
以テ農具改良ノ任ヲ負フ者ハ幸ニ農事試驗場ノアルアリ農事試驗場ノ如キハ新規有益ノ器  
械ヲ案出スルノミナラス在來ノ器械ニテモ便利ナリト認ムル物ハ之ヲ實地ニ試驗シ其可ナ  
ル物ハ其成績ヲ報告シテ之ヲ使用セシメ農具製作所ヲ新設シテ種々ノ器械ヲ製作シ之ヲ實  
地ニ試用シテ可成各地農家ニ使用セシメラレムコトヲ希望ス當局者宜ク深ク思フ致サレン  
コトヲ

出品中無用ノ裝飾ヲナス者アリ博覽會出品トシテ精良ノ品ヲ撰ミ出スハ之ヲ賣ムルノ限リ  
ニ非スト雖鐵鎌等ニ些シモ實用ニ效用ナキ本磨ヲナシ一見鏡ノ如キ光澤ヲ附シテ精良品ナ  
リト裝フモノアリ是等ノ如キハ着實ナル出品者トシテ見ルヘカラサルモノト信ス自今宜シ  
ク慎シム可キナリ

